



教師になつて一番幸せに感じることは、教えている子どもたちが心から可愛いと思えることである。多忙な日々の中で、一人ひとりの子どもについて、新たな一面を発見して、驚いたり感心したりする。どれもその子どもの個性の一部だと受け入れている。そんな無限の可能性を秘めている、若いエネルギーの固まりたちと過ごす時間はこの上なく楽しい。

「子どもたちが皆恵まれた環境のもとで育ち、落ち着いた態度で生活でき、学習にも意欲的であってほしい」と大人は大抵望むが、現実はそのようでないことの方が多し。子ども(小学生)の多くは、自己中心的で、楽な方へ走りやすい。面倒なことは避け、時間があっても学習へ時間を費やさない。自分の思い通りにならないと、攻撃的になるか、沈みがちになるかで、問題を自分で解決しようとしめない。喧嘩をしても自分の非を認めず、相手に責任転嫁する習性が高い。大人社会の反映(?)なのか、より強い者が権力を握る。

自然にまかせると、こういう好ましくない状況が子どもの中に生じてしまう。しかし、良くしたもので、子どもの中に、この状況を打破したいと願う有志が必ず出てくる。高学年になると、「ほっとけない」と立ち上がり、有志同士が現状打破を目指して団結する。教師は、平素の指導の中で、価値あることを教えながら、子どもたちの中から肅正の声が出るのを待つ。子どもたちの中に改革の気配を感じたら、話し合いをさせる。何が正しくて、何を改善していくべきなのか、本音を出させて討論させる。意思表示しない子どもも含めて、皆から真の声を聞く。

子どもの本性は、「善」である。皆、心の底では、良く有りた、仲間と意志の疎通を図りたいと願っている。落ち着くところへ落ち着く。本音での話し合いは、必ず望ましい結果を生む。少々の課題が残ってもよしと考え、次のステップにつなげていきたい。自分と違う考えを持つ人間がいるのは当たり前で、様々な考えがあつてこそ、人間社会が成り立っているものと学ばせたい。意見の対立があつて、物事が少しずつ前へ進むことも学ばせたい。子どもが、成長していく過程で失敗があり、試行錯誤があり、人との意見対立があるのは当然である。そこを苦勞して乗り越えたと、社会の中で確実な一歩を踏み出す人間に育つていくことができると思う。子どもたちが自らの意志で立ち上がるときを待ちたい。

伝言板

富士・東部保健福祉事務所(富士・東部保健所)

9月20日～26日は  
動物愛護週間です

小さな動物にも、人と同じように命や感情があります。飼い主はペットの習性を理解して、周りに迷惑にならないように気を配り、愛情と責任を持つて最後まで面倒を見ましょう。

飼い犬やねこに「迷子札」を付けていますか?もし迷子になってしまったら、すぐに保健所や市に連絡してください。保健所ではホームページで、迷子や保護された犬や猫の情報を掲載しています。

県動物愛護デー

日時 9月23日(祝)午前10時  
場所 アイメッセ山梨(甲府市)  
内容 動物クイズ、犬のしつけ方教室

犬のしつけ教室

日時 10月21日(水)午後2時  
場所 県富士吉田合同庁舎

県民の日記念行事 富士吉田会場

日時 10月24日(土)午前10時  
場所 富士北麓公園  
内容 動物愛護に関するコーナー

問合せ先

衛生課 ☎0555(24)9033

結核は今でも最大の感染症!

結核は、医療や生活水準の向上によって、薬を飲めば完治できる過去の病気だと思っていまいませんか?高齢者の中には、若いころに結核流行を経て、既に結核に感染している人もおり、体力・抵抗力が低下した時に眠っていた菌が目覚まし発病しやすくなります。

反対に、若い世代の多くは、未感染のため菌を吸い込むと感染しやすく、早い時期に発病する恐れがあります。国では、毎年9月24日～30日を結核予防週間と定め、結核の正しい理解と協力を得るための普及啓発運動を展開しています。

結核は、人から人へうつる病気ですが、早期に見つけて治療すれば人につすことも少なく、また、治療も短期間で済みます。職場・学校などの定期健康診断を必ず受けましょう。

また、咳や発熱が2週間以上続くなどの症状がみられたら、早めに医療機関で受診しましょう。

問合せ先

地域保健課 ☎0555(24)9035